



POWERGX

那覇市 樋川 1-35-1 4C  
沖縄県、日本

Info@powergx.co.jp  
+81 080-6491-9318

株式会社POWERGX

# Triggerfish



基本情報	クラウン	タイタン
本体素材	アルミニウム	
直径	380mm	
チューブ直径	200mm	
長さ	510mm	605mm
重量（淡水）	13KG	16KG
重量（海水）	13.3KG	16.4KG
使用可能水温	0-35°C	
基本仕様		
最大推進力	300N	
最大分速	85m/分 *1	
最大水深	100m	
バッテリー持続時間（巡行時）	95分	190分
バッテリー持続時間（最大）	260分	520分
その他機能		
ターボモード	○	
スピードコントロールダイヤル	○	
主電源スイッチ	○	
内部圧力チェック機能	○	
中性浮力/トリム	○	
バッテリー情報		
バッテリーの種類	リチウムイオン（電動工具バッテリー）	
電圧	37v	
バッテリー容量	370wh	740wh
充電時間	2時間	2時間

# Triggerfish



トリガーフィッシュ・水中スクーターの考え抜かれたモーターの設計はダイバーにとって水中での効率的な移動を可能にし、性能向上、疲労の軽減、バッテリー駆動時間の延長を実現し、様々な潜水環境において普遍的な利便性を実現しています。以下に、高度に設計されたモーターの特徴をご紹介します。



## ブラシレス・モーター:

ブラシレスモーターは従来のモーターに見られるカーボンブラシを利用しないため、摩擦と摩耗を減少させ、効率と寿命を飛躍的に向上させています。また、電磁的な干渉を軽減することで、より安定したモーターの動作が可能となっています。

## 優れた放熱メカニズム:

モーターとハウジングの統合によって、発生した熱の直接伝導と放熱が容易になりました。この設計により、ハウジングがヒートシンクとして機能し、モーターの熱を周囲の水に効果的に移動させることで過熱を防ぎ、システムの安定性と信頼性を向上させています。

## 水中での快適性を向上させた静音設計:

モーターが直接プロペラを駆動する設計により、従来のギアボックスによる駆動メカニズムを排除し、機械的な摩擦による騒音の発生を減少させています。結果的に水中での使用時に音が小さくなり、水中の生態系への影響を最小限に抑えることに役立ちます。水中生物から警戒されないことで、接近しやすくなる効果も期待できます。同様に、静穏性が求められるミッションでの使用にも適していると言えます。



# Triggerfish



水中スクーターの操作性はダイビングの快適性や目的を効率よく達成するためにとっても大切であり、そして何よりもダイバーの安全のために極めて重要です。トリガーフィッシュの優れた操作性を実現しているいくつかのポイントをご紹介します。

## 革新的な設計のコントロールユニット:

自身がテクニカルダイバーでもあり、水中スクーターの使用経験が豊富な設計者が細心の注意を払って作り上げたコントロールハンドルによって、すべての操作を片手でシームレスに実行できるようにしています。レクリエーションダイビングやテクニカルダイビング、寒冷地や温暖な地域を問わず、コントロールハンドルは比類のない快適性と操作性を提供し、安全で効率的な体験を保証します。

## 交換可能なコントロールユニット:

片側ハンドルとTハンドルを簡単に切り替えられる構造によって、環境に合わせた操作の柔軟性を高めます。この機能により、ダイバーは自分の好みや特定のダイビング条件に基づいてコントロールユニットの構成を変更することができます。

# Triggerfish



## PTB（電動工具用バッテリー）の採用

### 容易なバッテリー交換:

一般的に入手可能な電動工具用バッテリーが標準採用されており、これによりユーザーにとって簡単にバッテリーの交換や追加が可能になっています。多くの水中スクーターにおいては専用の大型バッテリーが採用されており、交換品の入手や輸送が一般的に困難です。トリガーフィッシュの場合、この点は非常に大きなメリットと言えます。

### メンテナンスの容易さ:

トリガーフィッシュにおけるPTBバッテリーの設計は、使いやすさとメンテナンスの容易さを重視しています。バッテリーのメンテナンスや交換が必要な場合には、ユーザーが簡単な操作で充電や交換を行うことができ、メンテナンスコストと時間が削減されます。

### 様々なコンフィグレーション:

PTBバッテリーは容量により通常の航空輸送規制に適合しているため、ユーザーは異なるバッテリーの組み合わせを使用することで航空輸送が可能になります。これにより、異なる場所でのダイビングや水中作業を行う必要があるユーザーにとっては大きな柔軟性と利便性が実現できます。